

# 2019年度第1四半期 業績の概要

2019年8月7日

日本生命保険相互会社  
Nippon Life Insurance Company

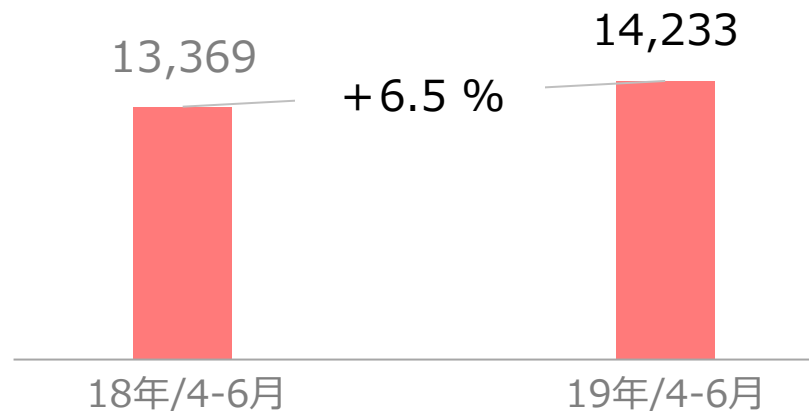
## 1 グループ概況

## 2 国内生命保険事業

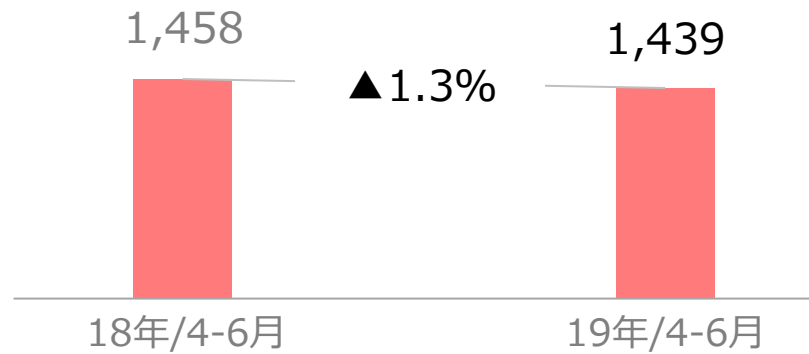
【参考】グループ各社の概況

- 2019年度第1四半期決算の連結業績は、前年同期より増収・減益。
- 保険料等収入は、日本生命やニッセイ・ウェルス生命での銀行窓販商品の販売増加を主因に増加。
- 基礎利益は、大樹生命の減少等により減少。

保険料等収入 (単位：億円)



基礎利益

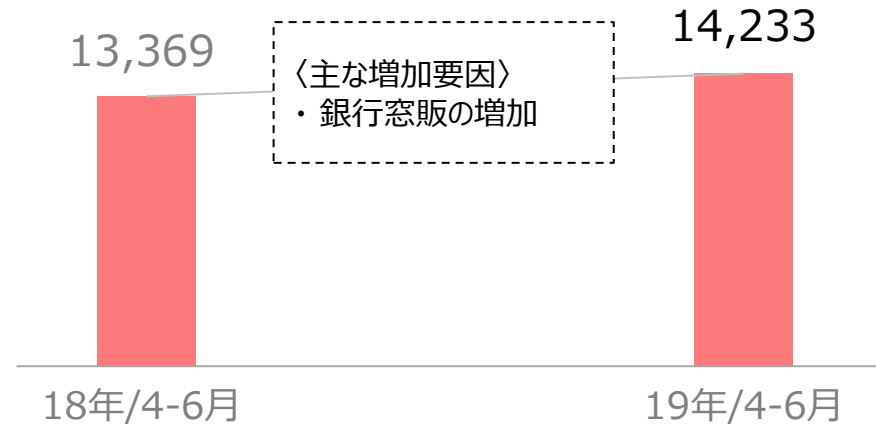


※ はなさく生命を2019年度第1四半期から連結反映（以降同様）

- 銀行窓販の増加を主因に前年同期より増収。
- 銀行窓販は、日本生命での外貨建商品の改定や円建商品の販売再開、ニッセイ・ウェルス生命の増加により増加。

## 保険料等収入

(単位：億円)

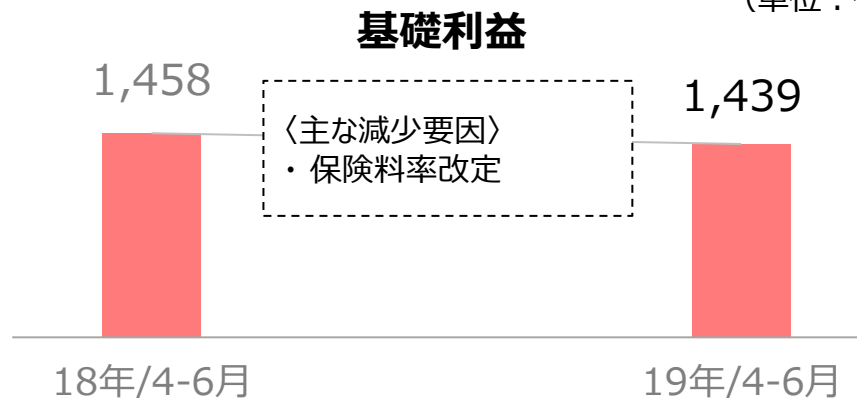


	2019年 4-6月	前年同期比
保険料等収入	14,233	+6.5%
日本生命	11,363	+8.8%
大樹生命	1,568	▲10.0%
ニッセイ・ウェルス生命	761	+28.1%
MLC	441	▲11.7%

※ 合計値は連結保険料等収入（日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命、MLC Limited（以下、MLC）、米国日生を対象に算出）

- 大樹生命の減益等により前年同期より減益。
- 保険料率改定等の保険関係損益の減少要因により減益。

(単位：億円)

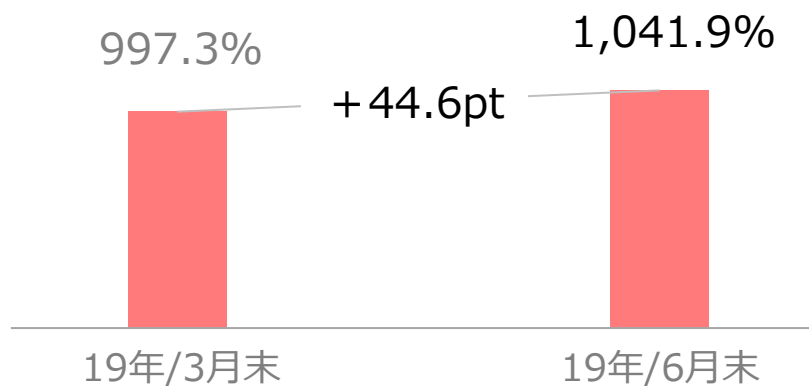


	2019年 4-6月	前年同期比
基礎利益	1,439	▲1.3%
日本生命	1,261	+0.1%
大樹生命	69	▲28.0%
ニッセイ・ウェルス生命	78	+12.5%
MLC	54	+62.1%

※ 合計値は日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命の基礎利益、海外生命保険子会社・関連会社の税引前純利益に、持分比率、一部の内部取引調整等を行い算出

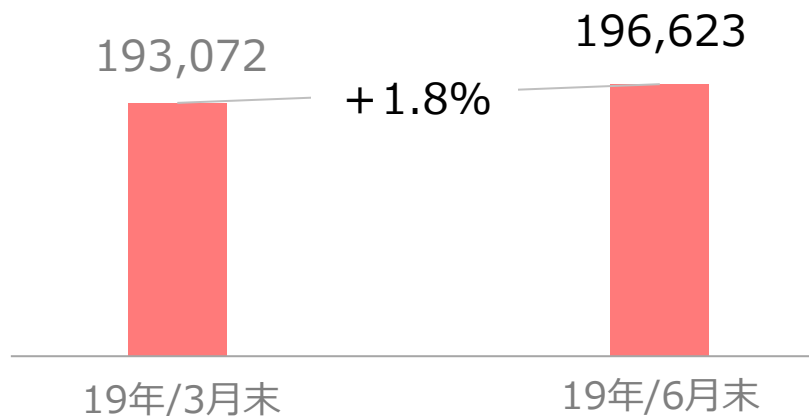
- ソルベンシー・マージン比率は、諸準備金等の積増や劣後ローン調達を通じて、自己資本を着実に積増したこと等により前年度末から増加。
- 実質純資産は、自己資本の積増に加え、国内外の金利低下によって有価証券の含み損益が増加したことを主因に前年度末から増加。

### ソルベンシー・マージン比率



### 実質純資産

(単位：億円)



## 損益計算書

- 経常利益及び当期純剰余は前年同期より減少。

(単位：億円)

	2019年 4-6月	前年同期比
経常収益	19,297	+2.4%
保険料等収入	14,233	+6.5%
資産運用収益	4,448	▲4.8%
経常費用	18,571	+4.7%
保険金等支払金	11,366	▲0.2%
資産運用費用	1,645	+58.5%
事業費	2,027	▲0.8%
経常利益	725	▲35.0%
(基礎利益)	1,439	▲1.3%
四半期純剰余 (利益)	513	▲30.5%

## 貸借対照表

- 総資産・責任準備金ともに、前年度末から増加。

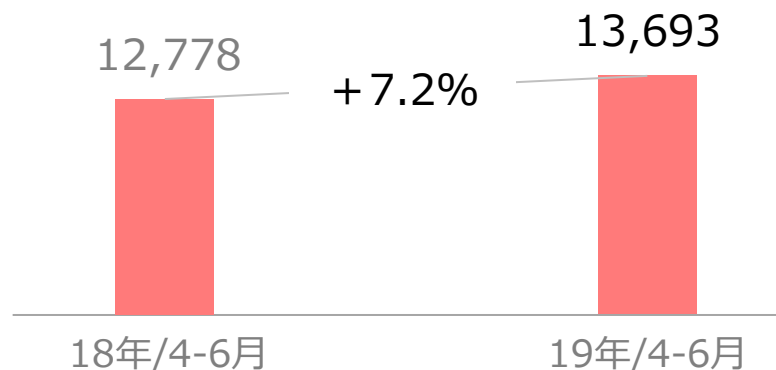
(単位：億円)

	2019年 6月末	前年度末比
総資産	792,468	+0.6%
うち有価証券	648,049	+0.5%
うち貸付金	84,974	▲0.2%
うち有形固定資産	19,106	+0.2%
負債	723,638	+0.7%
うち保険契約準備金	658,821	+0.6%
うち責任準備金	643,712	+0.4%
うち価格変動準備金	14,755	+1.1%
純資産	68,830	▲1.4%

- 国内における保険料等収入は、個人保険・個人年金保険の増加を主因に前年同期より増加。
- とりわけ、日本生命における商品改定に伴う外貨建商品の好調な販売や、円建商品の販売再開に加え、ニッセイ・ウェルス生命での販売が好調であったこと等から、銀行窓販チャネルが大幅に増加。

### 保険料等収入（国内計）

（単位：億円）



	2019年 4-6月	前年同期比
保険料等収入（国内計）	13,693	+7.2%
うち個人保険・個人年金保険	9,826	+10.3%
営業職員等チャネル	7,794	▲3.2%
銀行窓販チャネル	2,032	+136.9%
うち団体保険	769	▲8.1%
うち団体年金保険	2,924	+2.3%

※ 日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命の合計値



- 国内個人保険・個人年金保険の新契約年換算保険料については、法人向け商品の販売が減少したものの、新商品「入院総合保険“NEW in 1”」(2019年4月発売)の好調な販売や、銀行窓販の大幅増加を主因に増加。
- 一方、件数・保障額等は、昨年度の日本生命での「特定重度疾病保障保険“だい杖ぶ”」(2018年4月発売)の好調な販売の反動により減少。

(単位：億円、万件)

### 個人保険・個人年金保険

	年換算保険料		件数		保障額等	
	2019年 4-6月	前年同期比	2019年 4-6月	前年同期比	2019年 4-6月	前年同期比
国内計	1,056	+6.3%	133	▲5.2%	22,164	▲7.2%
営業職員等チャネル	557	▲19.1%	130	▲6.7%	19,908	▲12.2%
銀行窓販チャネル	498	+63.7%	3	+127.7%	2,255	+87.2%
日本生命	572	▲4.5%	127	▲5.3%	19,105	▲6.3%
大樹生命	103	▲12.4%	5	▲6.0%	2,398	▲10.7%
ニッセイ・ウェルス生命	380	+37.5%	0	+29.0%	659	▲18.5%

※ 国内計・チャネル別内訳は、日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命の合計値

- 国内の個人保険・個人年金保険の保有契約は、年換算保険料、保障額等は減少、件数は増加。
- 団体保険は増加した一方、団体年金保険は減少。

(単位：億円、万件)

### 個人保険・個人年金保険

	年換算保険料		件数		保障額等	
	2019年 6月末	前年度末比	2019年 6月末	前年度末比	2019年 6月末	前年度末比
国内計	45,291	▲0.1%	3,515	+1.1%	1,811,455	▲0.5%
日本生命	37,462	▲0.0%	3,222	+1.1%	1,586,124	▲0.4%
大樹生命	5,221	▲0.0%	260	+0.2%	193,988	▲1.0%
ニッセイ・ウェルス生命	2,606	▲1.4%	32	+0.7%	31,342	▲1.7%

### 団体保険・団体年金保険

	団体保険 (保障額等)		団体年金保険 (受託資産等)	
	2019年 6月末	前年度末比	2019年 6月末	前年度末比
国内計	1,103,259	+0.6%	167,626	▲0.1%
日本生命	977,855	+0.7%	131,952	+0.1%
大樹生命	125,403	▲0.4%	8,084	▲0.2%

- ※ 個人保険・個人年金保険の国内計は、日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命の合計値
- ※ 団体保険・団体年金保険の国内計は、日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命の合計値
- ※ 団体年金保険の国内計には、ニッセイアセットマネジメントの投資顧問残高(23,314億円)、確定拠出年金の投資信託(日本生命販社分4,264億円)を含む

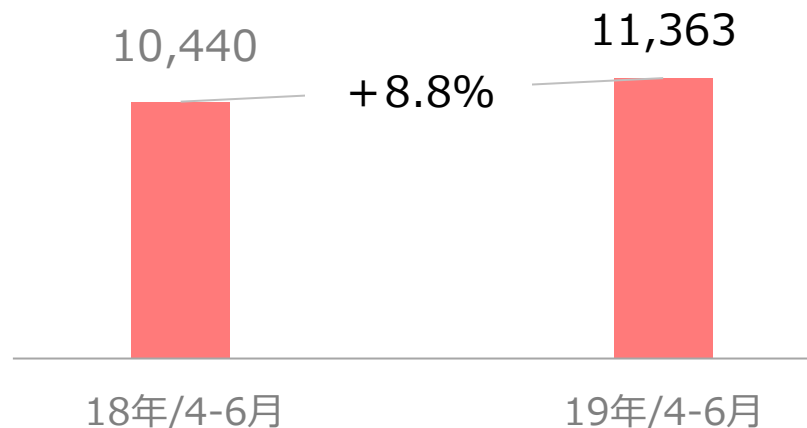
**【参考】**  
**グループ各社の概況**

# 【参考】日本生命（単体）：収支

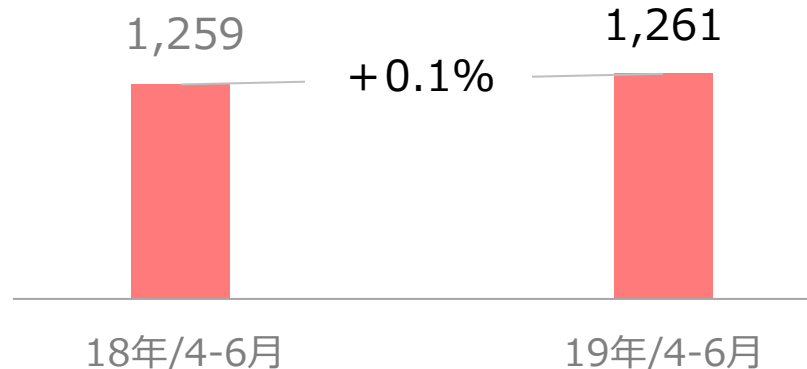
(単位：億円)

- 日本生命単体は前年同期より増収・増益。
- 保険料等収入は、商品改定を行った外貨建商品「ロングドリームGOLD3」（ニッセイ指定通貨建積立利率変動型一時払終身保険）の好調な販売や、円建商品「夢のかたちプラス」（ニッセイ予定利率変動型一時払逓増終身保険）の販売再開（2018年8月）等による銀行窓販チャネルでの増加を主因に増加。
- 基礎利益は、外国株式やクレジットを中心とした投信分配金の増加を主因に増益。

## 保険料等収入



## 基礎利益



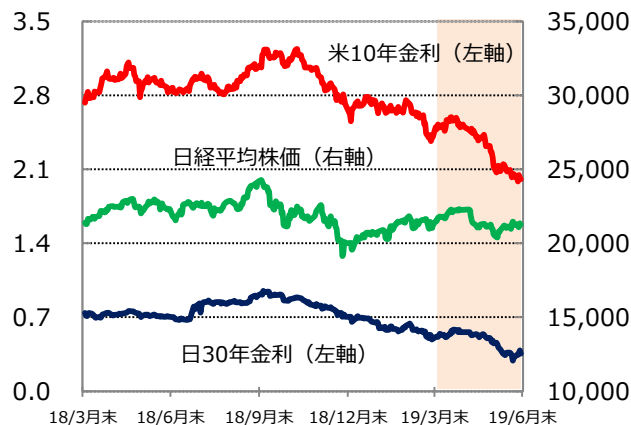
- 資産運用収支は前年同期より減少。
- 資産運用収益は、有価証券の売却益が減少したことを主因に減少。
- 資産運用費用は、有価証券売却損や金融派生商品費用の減少を主因に減少。

## 資産運用収支（一般勘定） （単位：億円）

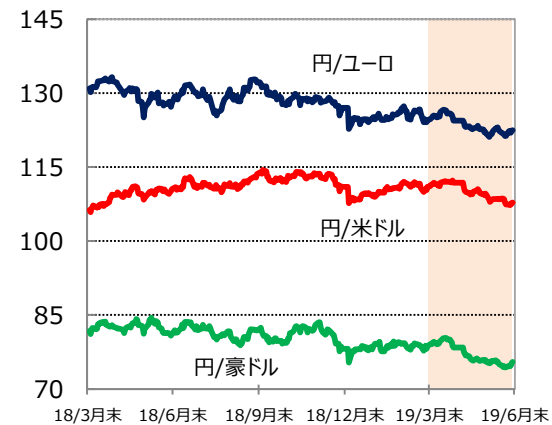
	2019年 4-6月	前年同期差
資産運用収益	3,404	▲ 486
うち利息及び配当金等収入	3,144	+ 38
うち有価証券売却益	252	▲ 472
資産運用費用	816	▲ 23
うち有価証券売却損	103	▲ 202
うち有価証券評価損	253	+ 225
うち金融派生商品費用	72	▲ 164
資産運用収支	2,588	▲ 462

## マーケット状況

（単位：％）



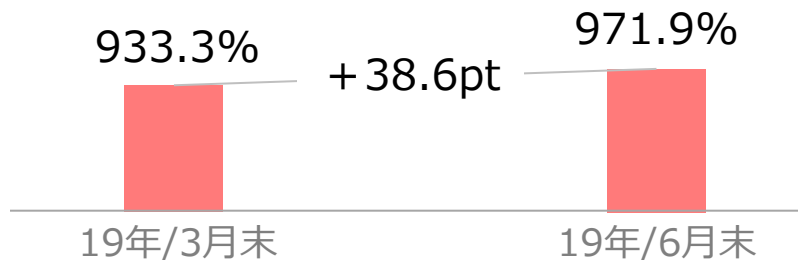
（単位：円）（単位：円）



# 【参考】日本生命（単体）：健全性

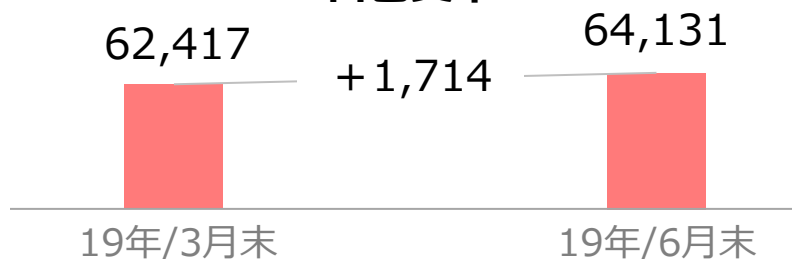
- 劣後ローン調達に加え、危険準備金・価格変動準備金の着実な積増等によって、自己資本が前年度末から増加したこと等によりソルベンシー・マージン比率は増加。
- 有価証券の含み益は、株価下落により国内株式の含み益が減少したものの、金利低下に伴う内外債券の含み益の増加を主因に前年度末から増加。

## ソルベンシー・マージン比率



## 自己資本

(単位：億円)



## 有価証券 含み損益

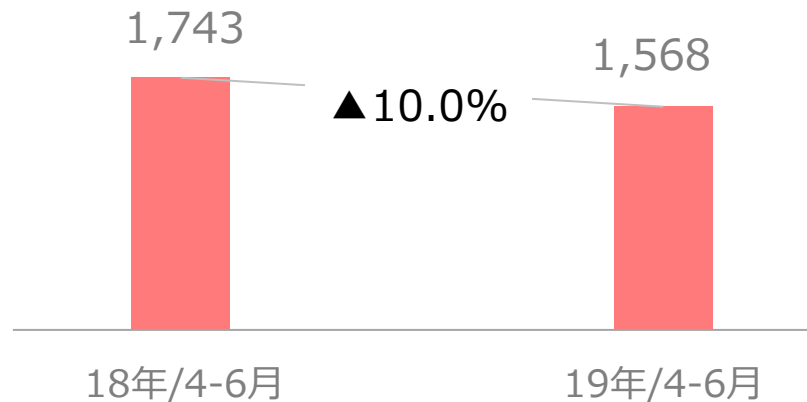
(単位：億円)

	2019年 6月末	前年度末差
時価のある有価証券	112,251	+ 3,278
公社債	46,085	+ 3,095
国内株式	38,352	▲ 3,424
外国証券	24,655	+ 3,140
その他	3,157	+ 467

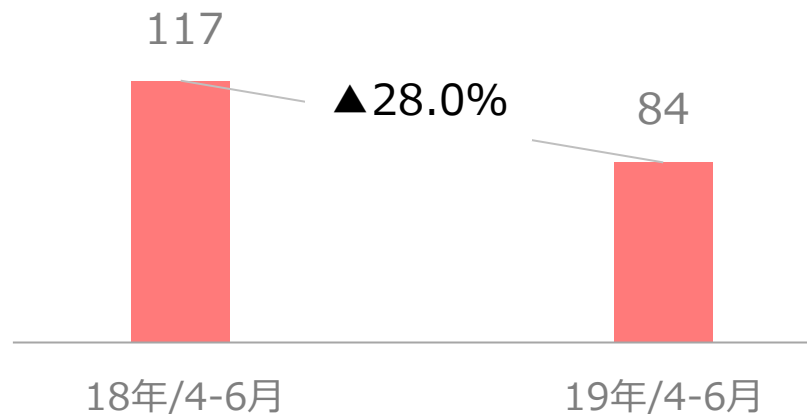
(単位：億円)

- 大樹生命は前年同期より減収・減益。
- 保険料等収入は、豪金利の低下により一時払外貨建養老保険の販売が減少したことを主因に減少。
- 基礎利益は、保険料率改定等の保険関係損益の減少要因により減少。

## 保険料等収入



## 基礎利益

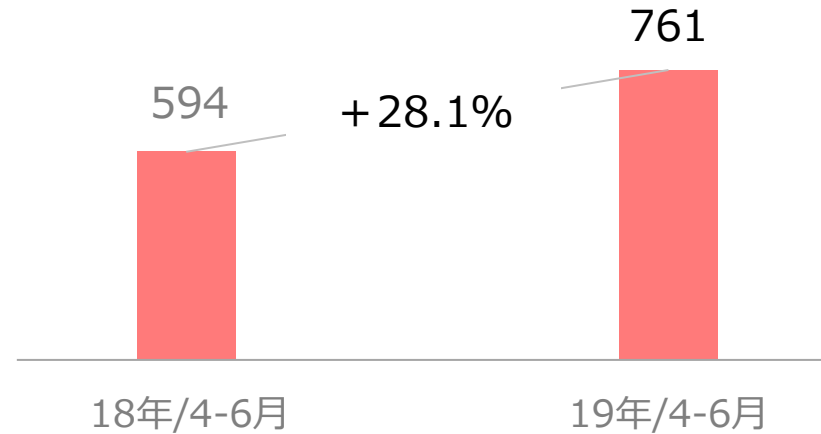


※ 単体の数値を記載

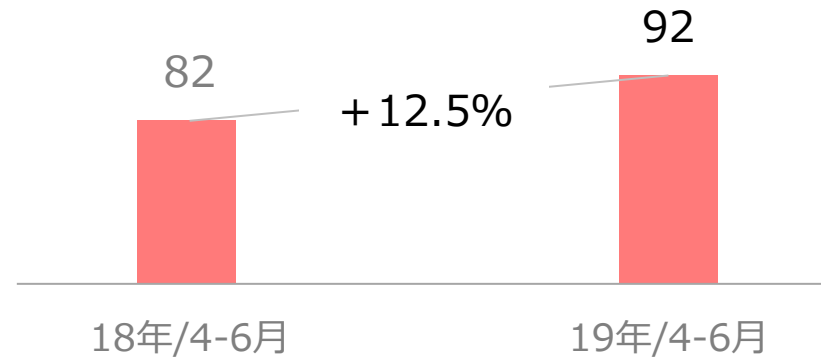
(単位：億円)

- ニッセイ・ウェルス生命は前年同期より増収・増益。
- 保険料等収入は、米ドル建商品の販売が好調であったことを主因に増加。
- 基礎利益は、利息及び配当金等収入の増加を主因に増加。

## 保険料等収入



## 基礎利益



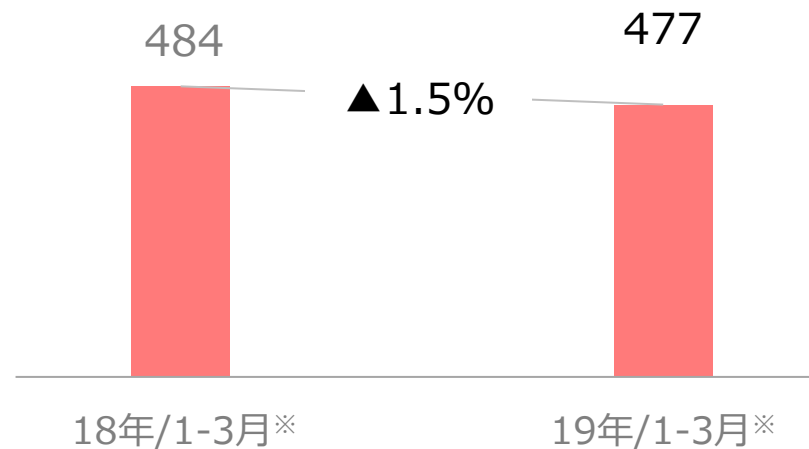
※ 単体の数値を記載



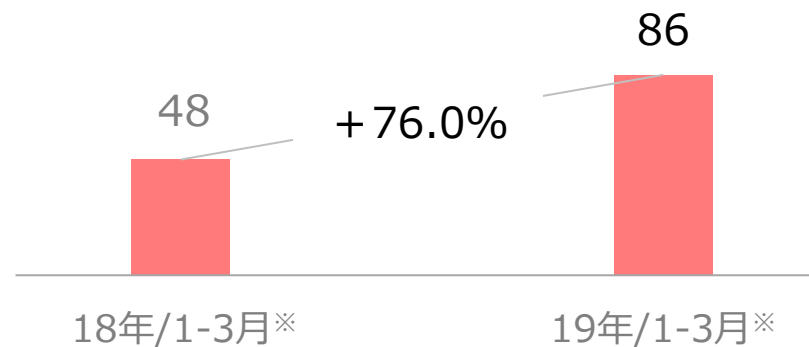
(単位：百万豪ドル)

- MLCは、前年同期より減収・増益。
- 収入保険料は、個人保険の販売は好調であった一方、団体保険・銀行窓販が減少したことから減少。
- 税引前利益は、運用収益の増加を主因に増加。

## 収入保険料



## 税引前利益



※ 単体の数値を記載

※ 第1四半期決算では1-3月期を連結反映